

2020年度第2回北栄町文化財保護委員会議事録

日時 2020年11月27日（金）

午後2時～3時30分

場所 北栄町北条健康福祉センター

参加者 北栄町文化財保護委員：日置条左エ門・横濱純一・南場兄一・中前雄一郎・遠藤晃子
事務局：別本勝美教育長・杉本裕史生涯学習課長・牧本哲雄生涯学習課参事・
前田美友紀文化スポーツ推進室長・永井秀和文化スポーツ推進室主事
鳥取県：中森祥文化財課課長補佐

日 程

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報告事項

(1) 町内遺跡発掘調査事業について…【資料1】

参事：6月下旬から町史跡である六尾反射炉跡の試掘調査を実施しました。これは、六尾反射炉跡に建っていた家屋が撤去されたことに伴い、六尾反射炉跡の地下の様子を確認するために実施しました。調査はトレンチを3箇所設けて実施し、トレンチ1からは大きな水路の跡が見られました。ここは水車小屋があった場所だと記録に残っているため、水車の溝だと思われます。トレンチ2では、反射炉建設時のものと思われる造成の跡が見られました。この辺りの地形が北東側に斜面になっていたようで、その斜面を拓げるために大規模な造成が行われていたと考えられます。トレンチ3からは、耐火レンガや素焼きの瓦の破片等が見つかったほか、小規模な鍛冶炉跡が見つかりました。

参事：続いて国道179号の試掘調査について説明します。天神川の東側に一部北栄町の土地があり、そこへ道路の建設が計画されています。これに先立ち11月中旬から調査を実施しました。トレンチを2箇所設定し、時代不明の溝が見つかったほか、新しめの遺物数点が見つかりました。

参事：県道倉吉由良線のボーリング調査については、12月中の実施を予定しています。

(2) その他

4. 協議事項

(1) 北栄町文化財保存活用地域計画修正について…【資料2】

1) 協議の経過

参事：6月に行った第1回文化財保護委員会以降の協議の経過について説明します。7月2

7・28日に文化庁の専門官が北栄町にお越しになり、協議を行いました。併せて、町内にどのような文化財があるのか現地視察も行っていただきました。協議の中で、今後のスケジュール確認も行い、当初予定していた来年3月認定から来年7月認定に予定を変更しました。9月、10月には文化庁から意見をいただいたほか、県文化財課との協議を数回行いました。11月7日には、町内の有志の方に集まっていただき、文化財の今後の活用等について話し合いの場を設けました。

2) 修正案について (素案本文編・資料編、パブリックコメントについて)

参事：現在の修正案は別紙資料のとおりです。文化庁や県文化財課から、字句の修正や文の構成等についての意見をいただきながら修正しました。委員の皆さまもお気づきの点等があればご意見をお願いします。

委員長：ご意見はありますか。

中前：11頁の生態系についてです。北栄町の希少生物として、動物は鳥類と魚類と両生類が入れてありますが、昆虫についても入れてよいですか。その場合、いつまでに資料を提出すればよいですか。

参事：大丈夫です。3月には文化庁に最終案を提出するため、2月中にお願いします。2月下旬に実施予定の第3回文化財保護委員会が最終協議の場となります。

課長：お示ししている修正案については、文化庁の複数人から意見をいただいているほか、県文化財課からも意見をいただいています。また、町の皆さまにも見ていただけるよう1月にパブリックコメントを予定しています。これらを同時進行で修正していくことはとても大変な作業です。そのため、委員の皆さまからの意見についてもできるだけ反映したいと思っておりますが、文化庁等からの指摘と併せて総合的に勘案し、反映するかどうかの判断をさせていただきたいと思っております。

遠藤：表紙はこれで決定ですか。表紙の下側に載せてある仏像の写真を上側に配置した方がよい気がします。また、文中の豊田太蔵親子の写真の配置についても入れ替えた方がよいと思います。

参事：わかりました。

南場：5頁の地域計画作成体制について、文化財保護委員名簿をここに載せることに対して違和感があります。最終頁等に載せるのであればまだわかりませんが。

課長：文化庁と相談してみます。文化庁から文の並びについても指示を受けているため、その辺りと併せて検討します。

横濱：15頁の観光についてです。名探偵コナンの世界的な人気により、国内のみならず海外からの観光客が増えているということを記載した方がよいと思います。また、29頁の育英高校出身の著名人については青山剛昌氏のみ記載となっておりますが、他にも複数名載せてはどうでしょうか。

南場：育英高校の同窓会に尋ねたらわかるかと思っております。

参事：わかりました。

横濱：文化庁からはどのような意見や指摘があるのでしょうか。

課長：北栄町の特徴である、砂丘と平地、クロボクがバランスよく揃った地形に着目して計画を作成している点。厳しさと豊かさが共存している環境下で、先見性を持って歩んできた先人たちがいたことにより、北栄町の文化財や歴史が育まれてきたという点。これらを計画の中に上手く書き込めてきたことにより、以前よりわかりやすくなったとの評価をいただいています。一方で、全体的にもう少し整合性のある書き方ができればさらに良くなるとの評価をいただいています。

中森：北栄町のことを知らない人がこの計画を読んだ時にも、北栄町の文化・文化財と砂丘・クロボクとの繋がりが読み取れるよう、最初の段階で、これらの繋がりについて記載しておくことが必要だと感じます。

課長：余談ですが、北栄町の砂浜は全て北条砂丘だと計画の中でも示します。北条砂丘が旧北条町のものだというイメージにならないようにしたいと思います。

横濱：北条砂丘と言うと、

委員長：その他ありますか。(なし)

3) 今後のスケジュール

参事：12月4日に文化庁へ行き、本日出た意見を踏まえた修正案についての協議を行ってきます。来年1月に、町民と町内に勤務されている方を対象として、パブリックコメントを実施し、1月中を目途に意見を募集します。その後、2月の文化財保護委員会で最終案についてご審議いただき、3月に文化庁に提出するという流れにしたいと思います。

(2) その他

南場：六尾反射炉跡の今後の活用についてどのようなことを考えていますか。

参事：資料のとおり、来年度から10年間分の調査活用計画を作成しています。ゆくゆくは県・国史跡を目指して調査等を進めていきたいと考えています。

南場：私は、六尾反射炉の建物を再現してほしいと考えていますがどうでしょうか。

課長：葦山反射炉と萩反射炉については、もともとあった建物等がそのまま残っていることに価値があり、世界遺産になっています。そのため、跡地に新しく建物を建てることによって六尾反射炉の価値が上がるということはないという見解を持っています。なお、青山剛昌ふるさと館については六尾反射炉を模したものとして建てられているので、そこは上手に活用していく必要があると考えています。

委員長：その他ありますか。(なし)

5. その他

6. 閉会